

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	令和5年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 15,851人 (令和4年度:13,133人)	②年間延べ利用団体数 598団体 (令和4年度:623団体)																																				
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 収入</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td> 指定管理料</td> <td style="text-align: right;">30,453,703</td> </tr> <tr> <td> 主催事業収入</td> <td style="text-align: right;">2,488,455</td> </tr> <tr> <td> 雑収入</td> <td style="text-align: right;">122</td> </tr> <tr> <td> 補填金</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td> その他収入</td> <td style="text-align: right;">3,714,190</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">36,656,470</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 人件費・賃金</td> <td style="text-align: right;">20,130,471</td> </tr> <tr> <td> 光熱水費</td> <td style="text-align: right;">1,760,441</td> </tr> <tr> <td> 委託費</td> <td style="text-align: right;">2,266,000</td> </tr> <tr> <td> 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">1,817,653</td> </tr> <tr> <td> 修繕費</td> <td style="text-align: right;">46,750</td> </tr> <tr> <td> 報償費</td> <td style="text-align: right;">1,215,595</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td style="text-align: right;">3,797,169</td> </tr> <tr> <td> 本部繰入額</td> <td style="text-align: right;">5,068,561</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">36,102,640</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td style="text-align: right;">553,830</td> </tr> </table>		1 収入		指定管理料	30,453,703	主催事業収入	2,488,455	雑収入	122	補填金	0	その他収入	3,714,190	合 計	36,656,470	2 支出		人件費・賃金	20,130,471	光熱水費	1,760,441	委託費	2,266,000	消耗品費	1,817,653	修繕費	46,750	報償費	1,215,595	その他	3,797,169	本部繰入額	5,068,561	合 計	36,102,640	3 差引	553,830
1 収入																																						
指定管理料	30,453,703																																					
主催事業収入	2,488,455																																					
雑収入	122																																					
補填金	0																																					
その他収入	3,714,190																																					
合 計	36,656,470																																					
2 支出																																						
人件費・賃金	20,130,471																																					
光熱水費	1,760,441																																					
委託費	2,266,000																																					
消耗品費	1,817,653																																					
修繕費	46,750																																					
報償費	1,215,595																																					
その他	3,797,169																																					
本部繰入額	5,068,561																																					
合 計	36,102,640																																					
3 差引	553,830																																					
サービス向上の取組	野外活動に関する知識や技術が豊富な職員が指導にあたり、満足度の高い体験や世代間交流、地域交流の場を作っている。また、事業実施後には反省会を開き、改善点を指導マニュアルに反映させており、事業の充実を図っている。																																					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	2	2
(評価の理由) ・利用者からの要望に応えるために、新規事業として、家族を対象にした「黒川テント村」を実施した。家族でテント泊という生活を体験することを目的として実施し、コンビニや駅が近いという立地の良さや宿泊室が備わっていることなど、初めてテント泊をする家族も安心して活動に取り組むことができた。 ・伝統行事の継承を目的に「流しそうめんキットづくり」を実施したところ、定員を大きく超える申し込みがあった。これまでは1つの長いレーンのキットを作成していたが、令和5年度においては参加した1家族ごとに1キットを作成して、完成後は持ち帰って自宅でも活用するなど、参加者のニーズに答えることができた。 ・利用者数については、新型コロナウイルスの5類緩和に伴い、特段制限なく事業を実施できたことにより、利用者数は令和4年度と比べ、約2,700人程度増加したものの、目標値には達成できず、前指定管理時平均と比べても下回った。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
		計画に基づく適切な収入が確保されているか			
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な支出がなされているか	10	4	8
		支出に見合う効果が得られているか			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続について、計画に基づき、毎月の収支状況を本部担当者がチェックするなど、会計処理及び金銭管理のための規則等に準って会計処理及び金銭管理を適切に行っている。 ・効率的・効果的な支出について、計画に基づき、新規に消耗品・備品を購入する時には必ず相見積もりを取った上で購入を進めるとともに、再利用が可能な備品に関しては、効率的に活用しながら適切に執行されている。 ・ナラ枯れによる落枝の被害を未然に防ぐため、職員自らチェーンソー講習会を受講して対象樹木を剪定したことにより、樹木剪定委託経費を削減した。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	3	6
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 施設・事業の広報については、日々のトピックや主催事業のページを更新し、利用者からの質問や要望に対して、ホームページの修正・改善を実施した。また、毎日のブログ更新やInstagram及びFacebookの紐づけなど、若い方向けの情報発信を積極的に実施した結果、Instagramのフォロワー数も令和4年度から増加し、1,500人を超えている。 利用者への対応については、「顔の見える関係づくり」を意識し、活動中の団体等への声掛けを実施しているため、利用者からの意見等に対して積極的に職員が対応している。 学校との連携においては、栗木台小学校の小学生に対し、里山事業の一環として「炭焼き体験」、「畑の土ふりい」、「薪割り体験」等の体験を行い、自然に触れる取り組みを実施したり、学校側の要望に応じて、菅小学校やフェリス短期大学に出張し、「防災ロープワーク」や「壺焼き芋体験」を実施した。 令和5年度においても近隣大学を中心に多くの学生のインターンシップを受け入れた。インターンシップ終了後もネイチャーボランティアとして事業やイベント等に参加してくれるなど、センターの活動に興味を抱いてもらい、その後の活動に繋がっている。 利用者ニーズについては、日頃のアンケート等において「家族での利用」といった要望をいただいていたため、令和5年度においては家族で施設に宿泊する「黒川テント村」を実施した。 					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、仕様書等に基づき、適正な人員配置を行った。 職員の研修体制については、令和5年度において職員が「冒険教育プログラム指導」を習得するために「PA Starter LowElements研修」を受講し、プロジェクトアドベンチャーの考え方や手法を実際に学び、施設内での「アドベンチャーツアー」の実施に活かした。 個人情報等の取扱について、情報漏洩等のトラブルはなかった。さらに個人情報規程や個人情報ポリシーに従って厳重に管理し、法人に設置する個人情報取扱責任者のもと、個人情報取扱担当者を選任して職員への教育と訓練を行っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	5	5
		利用者の安全確保			
	防犯対策	施設等の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
		災害発生時のマニュアル等が整備されているか			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ナラ枯れにより落枝の頻度が高まった中で、令和5年度においては講師によるチェーンソー講習会を実施した。定員を超える参加者が募る中、職員も講習を受けたことで、職員による樹木の点検や剪定等を実施することができた。併せて、施設利用者が安全かつ安心して活動できたことに加え、どんぐり山の整備活動の頻度を増やすことにもつなげた。 利用者の安全確保については、引き続き、リスクマネージャー(安全管理者)を設置し、施設運営におけるリスク管理の担当者として、他施設における事故トラブル事例の収集やリスクの予測、事故防止対策などの安全管理対策にあたった。また、事故寸前回避事例集を基に、職員・スタッフともに振り返りながら事例の検証及び対策案を検討した。 防犯対策については、職員による日常点検や業務で施設を確認し、避難経路に障害物や不具合がないかを確認するとともに、不具合があった場合は速やかに修理や清掃を行った。 災害への対応については、消防計画に基づき避難訓練を実施した。 					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、
 C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、
 E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>新型コロナウイルスの5類緩和に伴い、年度当初からコロナ前の運営に戻しながら、利用者の新たなニーズにも応えるべく様々な事業を実施した結果、令和4年度と比べ令和5年度における利用者数は2,500名を超えることができた。また、地域における青少年教育施設として、近隣学校を中心に出席講座等を行い、出前先でも野外活動が体験できる取り組みを提供するとともに、施設を訪問した学校については、本格的な野外活動体験を提供することで様々な里山の魅力を発信した。併せて、昨今のナラ枯れによる被害を受けている現状を把握したうえで、今後のナラ枯れによる被害を未然に防止するために、職員が講習会を受講することで職員自らが施設の整備活動により一層携わる頻度を増やしたとともに、費用削減にもつながるなど、効率的かつ効果的な対応を行ったものと評価できる。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>令和4年度と比べ利用者数は増加したものの、目標値は未達成であったため、引き続き利用者のニーズを汲み取りながら施設及び事業の魅力ある発信を継続していく必要がある。新型コロナウイルス緩和に伴い、新たに取り組んだ事業については、令和5年度の取り組み内容を振り返り・見直ししながら令和6年度実施に向けて更なる改善を行いながら実施していくことを期待する。また、事業や行事等の広報活動においてもHPやSNS等を中心に展開していたので、これに加えチラシ等を用いて近隣の学校等地域の関連機関にも紹介するなど、更なる連携を深めながら施設の魅力を発信していくことが必要であると考えます。</p>
--